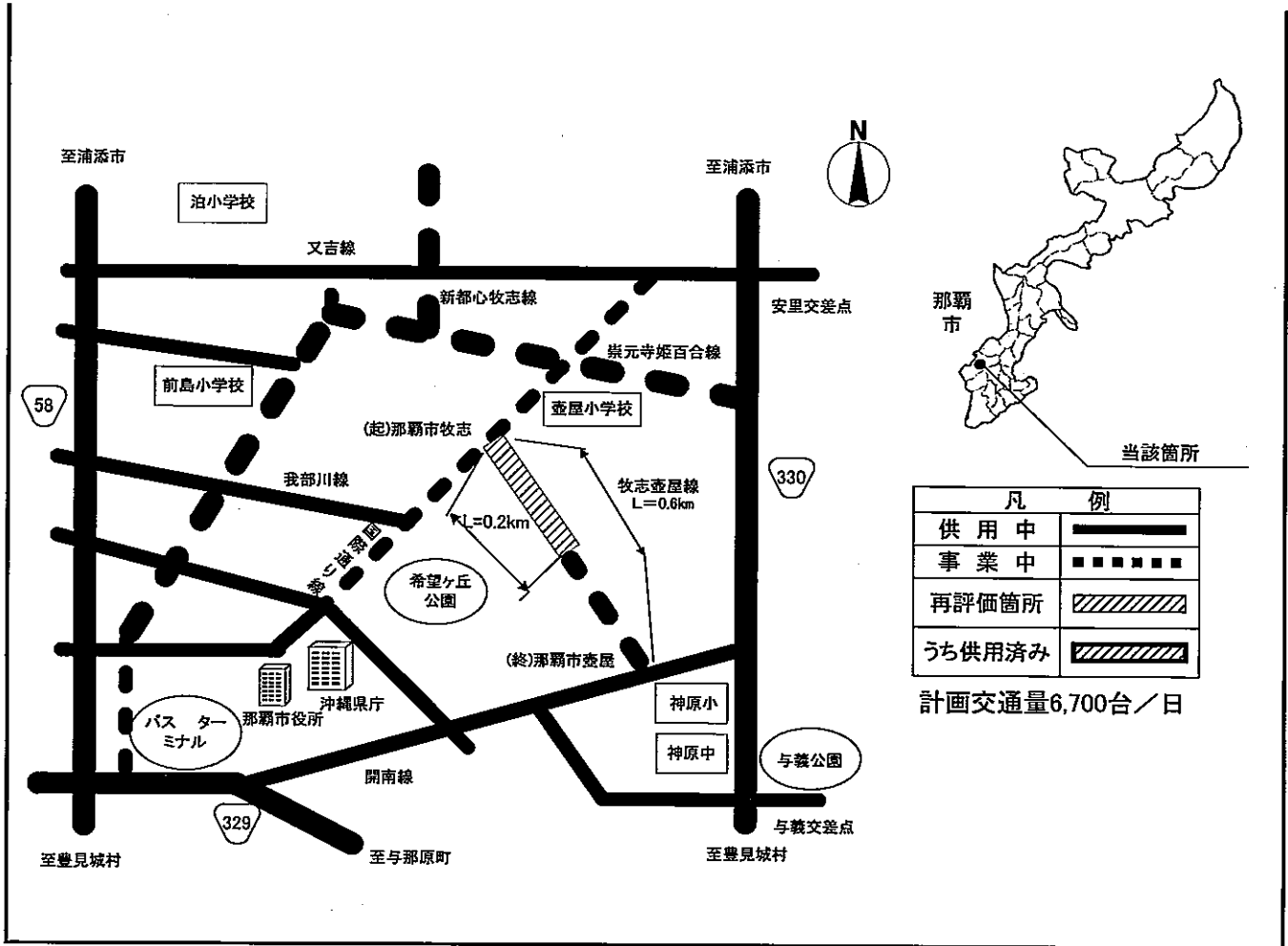


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：沖縄総合事務局建設行政課

担当課長名：村山 継

事業名 まきしつぼや 牧志壺屋線	事業区分 街路	事業主体 沖縄県那覇市			
起終点 自 沖縄県那覇市牧志3丁目 至 沖縄県那覇市牧志3丁目	延長 0.2km				
事業概要 牧志壺屋線は、国際通りを起点に壺屋地区を通り、開南線を終点とする延長590mの地域幹線道路であり、平成11年3月に策定された「那覇市中心市街地活性化基本計画」において、中心市街地の活性化、整備改善に重要な役割を担う路線として位置付けられている。 本線を整備することで、沿線の活性化と歩道の確保による安全で快適な街づくりを図るものである。					
H6年度事業化	H4年度都市計画決定 (H5年度変更)	H7年度用地着手 H12年度工事着手			
全体事業費	約74(44)億円	事業進捗率	98%	供用済延長	0km
計画交通量	6,700台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体)	3.4	総費用 (事業)/ (事業全体) 31/76億円	総便益 (事業)/ (事業全体) 258/258億円	基準年 平成15年
	(事業)	8.3	(事業費) : 31/76億円 (維持管理費) : 0/0億円	(走行時間短縮便益) : 251/251億円 (走行費用減少便益) : 7/7億円 (交通事故減少便益) : 0/0億円	
事業の効果等 ・都市再生（中心市街地で行う事業である） ・国土地域（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する）					
関係する地方公共団体等の意見 国際通り線の交通負荷の軽減及び、関連事業であるNAHA文化テンプスの集客の向上等、中心市街地の活性化が期待でき、周辺地域の壺屋神里原通り会外3団体より早期整備に関する要請を受けている。（平成14年5月31日）					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 車社会の進展、住宅の郊外化、流通の変化による郊外大型店の進出などにより定住人口の減少、商業の停滞等により、中心市街地が空洞化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 これまで（平成15年度末）に事業費ベースで99%の進捗で、用地取得率も90%まで達している。未買収用地は残り10筆（約123㎡）で、その箇所の用地取得と街路工事が残事業となる。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 一部において用地補償交渉が難航したため、事業進捗の遅れとなった。未買収用地については、引き続き任意交渉を進めていくとともに、土地収用の手続きも併せて進めることにより、早期の用地取得を図る。					
施設の構造や工法の変更等 特になし。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由 用地買収も残りわずかであることから、現計画の推進が効率的である。					
事業概要図					



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。